

空の下に 自在空間!

エクステリア建材事業部コンセプト

「庭に住まう」という発想から

このコンセプトは、「庭に住まう」つまり庭の中に家があって、暮らしがある、という考えから発想したものです。「空の下に自在空間をつくり、その自在空間をさまざまに活用し、楽しんでいただきたい」という思いが込められているのです。束縛がなく、心のままに広がっていく.....そんな自由な空間を、さらに高品質で付加価値のある「自在空間」として、さまざまに具現化し提案、提供してまいります。

「空の下に自在空間」

“家の外はすべて、われわれエクステリアの無限に広がる事業領域である”という考え方を「空の下に」という言葉に込めています。そしてこのコンセプトの実現に向け、新しい商品カテゴリーとして「ムーテリア」を誕生させました。

ムーテリアの誕生

新カテゴリー「ムーテリア」は、「ガーデンエクステリア」「ウォールエクステリア」「パブリックエクステリア」の各分野を超えて展開してまいります。家の中でもなく外でもない、“インテリア”“エクステリア”という区分を超えて、風を感じ、雨の音に耳をかたむけ、陽射しを楽しむ。そんな居心地のよい新付加価値空間、言い換えれば「もう少しそこにいたくなる空間」。それが新カテゴリー「ムーテリア」です。私どもは、この新カテゴリー「ムーテリア」を大きく育ててまいります。もっと居心地のいい空間を演出したい。いろいろな人のいろいろな夢をかなえる空間を、さまざまな商品を通じて提案していきたい。そして、外に広がる空間を、もっと素敵に、もっと自由に、もっと楽しく活用してもらいたい。「空の下に 自在空間!」それが、私たちの合言葉です。



ムーテリアとは、MUTUALITY ミューチュアリティ（相互関係）とエクステリアを結び合わせた造語です。



開放感のある大きなスペースは、アウトドアリビングとして活躍。ランチの場として、ちょっとした屋外ホームパーティの場として.....。また、雨の日でも子供たちは元気に庭で遊べます。

新カテゴリー「ムーテリア」の フラッグシップ商品誕生!!

「ムーテリア」の考え方から生まれた新商品が今秋発表されます。10mのワイドスパンで、開放感のある大きなシェード、中央からシンボルツリーが飛び出した屋根シェードなど、使い方はさまざま。多様な自在空間を実現します。用途、生活シーンが自在だけでなく、構造体の自在性が可能にした、施工や形状の自在性など、その秘めたる市場性は多大です。



前庭でもあり、玄関へのアプローチでもある自在な空間。シェード中央からは、庭のシンボルツリーが頭を出しています。トラス構造ならではの自在性が、自由で機能的なプランを可能にします。



たとえば、隣接する二世帯共用スペースには、両世帯をゆるやかにつなく、楽しいパティオ空間としても使えます。



フロントヤードからボーダーヤードまで、勝手口、テラスへと延び、トータルなアウトドアリビングのシェードとして活用できます。